お客様各位

2022 年 2 月 7 日
富士通株式会社
マネージドインフラサービス事業本部

新型コロナウイルス感染症に対する保守サービスの対応について（第四版）

平素より当社 SupportDesk をご利用頂き誠にありがとうございます。

SupportDesk では従来より不測の事態に備え、BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）を確立しております。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により首都圏含む各都市での活動が自粛された場合も、サービス提供が可能となるように対策を取っております。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の急拡大は従来と様相が異なり、エッセンシャルワーカー※をはじめ、社会インフラを支える方々の感染・感染者との濃厚接触が散見されており、社会生活の維持への影響も懸念されています。SupportDesk の提供におきましても、お客様への感染リスク低減、技術員／物流インフラへの影響も鑑み、定例会や急を要さない計画保守作業の延伸をお願いする場合がございますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、新型コロナウイルスの感染急拡大に伴うサービスインフラの確保に向けて、①行政、ライフライン、医療、金融機関など、社会インフラシステムの優先的対応、②障害保守作業の延伸調整（技術者派遣、保守部品供給)、③コールセンターでのメールや Web 対応等、調整させていただく場合がございます。
お客様にはご不便・ご心配をおかけいたしますが、重ねてご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

※エッセンシャルワーカー：日常生活の維持のために、現場で働いている職業の方の総称。例えば医師・看護師に代表される「医療従事者」、運送・配送に携わる「ドライバー」、市役所（公務員）に勤める方や保健所に勤める保健師・生活相談や介護・福祉等の分野で働く方々、保育士や学校教員、電気・ガス・水道整備やゴミ収集に携わる方達など、社会インフラに関係するような職業のこと。

以上